

リサイクルシステム・技術研究部会
企画セッション

プラスチックリサイクルに対する 新型コロナウイルスの影響

第31回 廃棄物資源循環学会研究発表会

@ Zoom 第3会場

2020年9月18日

東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻

中谷 隼

本企画セッションの内容

✓ 背景

- 使用済プラスチックなどは、2017年12月末の中国による **禁輸措置** を皮切りに、東アジア諸国でも輸入が規制され、国内では未処理廃棄物の許可容量を超えた保管・滞留が報告されている。
 - 2020年の初旬にかけて保管量の増加傾向は緩やかに ...
- 2020年4月以降は、**新型コロナウイルス** の影響を受けて使用済プラスチックの排出傾向が変化し、その収集・処理においても対応が迫られている。

✓ 趣旨

- (外国の輸入規制や) **新型コロナウイルス** による **使用済プラスチック** の廃棄物処理・リサイクルへの影響について、まさに現場で対応されている事業者に講演いただき ...
- 当面は継続することが想定される **with コロナ** における **プラスチック資源循環** のあり方について意見交換する。

プログラムと講演者

✓ 収集運搬 における新型コロナウイルスの影響

- 梶希帆 氏（都築鋼産株式会社）より講演

✓ 廃棄物処理・リサイクル における新型コロナウイルスの影響

- 影山嘉宏 氏（J&T環境株式会社）より講演
- 谷島篤 氏（株式会社富山環境整備）より講演

• パネルディスカッション

- コーディネータ：中谷隼（東京大学）

パネルディスカッションの論点

- ✓ **輸入規制** によって どのような廃プラスチックが増えた？
- ✓ **コロナ禍** によって 使用済プラスチックの量や質は変化した？
- ✓ **with コロナ** における あるべき **プラスチック資源循環** とは？

• パネリスト:

- 梶希帆 氏 (都築鋼産株式会社)
- 影山嘉宏 氏 (J&T環境株式会社)
- 谷島篤 氏 (株式会社富山環境整備)
- 加茂徹 氏 (産業技術総合研究所) リサイクルシステム・技術研究部会長